

木田融男

講義は、「産業社会学」です。研究は、現代社会論（例えば格差社会論、ワークフェア論）、現代社会における人びとの行為様式（労働／生活スタイル）、そしてそういったものを包括する“社会”というものの様態を解明することです。趣味は、ワーク&ライフバランスを目途に、いろんな趣味／生活スタイル（料理、ウォーキング／スイミング、楽器演奏など）に手を出しては、残念ながら中途半端に終わるといふ案配です。

1. 専門演習の目標

現代人が急激な変容を遂げつつある姿を現代社会論として把握しつつ、その中で日本人あるいはその他の地域の人々の、労働／生活にかかわる生き方・生活価値すなわち生活スタイルを探ります。

2. 専門演習で扱う課題と内容

文献や資料／データなどで現代社会のこと、現代人の生活スタイルのことを学びつつ、なるべく現実・具体的にゼミで把握してもらうことを主眼にします。現在の流動的な現代社会にあって、人々の”新しい”生活スタイルのあり方を見通すことを最終的には視野にいれたいと考えています。

3. 授業の進め方・内容

- ・3回生前期：現代社会のこと、またその構造ともいうべき制度や特徴などを学んでもらいつつ、各班からの報告と討議をしてもらいます。
- ・3回生後期：各自のテーマにより新しい班構成をし、現代人の生活スタイルにかかわるテーマ（子ども／若もの、男性／女性、働く人／余暇の人、高齢者などを基本に）の報告と討議、そして最後には個人報告もしてもらいます。
- ・4回生前期：進路就職の相談を入れながら、卒論執筆の報告／相談をしていきます。
- ・4回生後期：卒論に向けて、個人報告とみんなからの合評を行っていきます。

4. 必要とする知識

現代社会論、および労働／生活スタイルのこと

5. 関連する分野・科目・知識

コア科目（現代と社会）、現代社会にかかわる講義（産業社会学も）、労働／生活のスタイルにかかわる講義など

6. テキスト・参考書・機材（受講生が標準的に持つもの）

ゼミが始まれば、今までゼミで扱ったテーマや文献を紹介します

7. 独自に付加する選考方法

ありません

8. 受講生に望むこと

ゼミでの豊かなコミュニケーションがまずはあること、その上に多様なみなさんのアクティブなゼミへの係わりを期待します。